

学校だより



みなみたなか

平成26年2月28日
練馬区立南田中小学校
校長 梶谷 雅弘

平成25年度 学校評価アンケート結果報告

副校長 遠田 公博

厳寒の冬からようやく春の訪れを感じる今日この頃です。心配されていたインフルエンザによる学級閉鎖もようやく峠を越え、今年の冬を乗り切ることができそうなところまでやってきました。

さて、昨年12月初旬、学校評価に関するアンケートを実施しました。全部で155のご家庭にご協力頂きました。保護者の皆様にはお忙しい中をご協力いただき厚くお礼を申し上げます。アンケートの集計結果をまとめましたのでお知らせ致します。

4	3	2	1	?	平均
そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	

表の数字は、「そう思う」～「分からない」の回答数を表します。また、「そう思う」を4点、「ややそう思う」を3点、「あまりそう思わない」を2点、「そう思わない」を1点、「分からない」を0点とし、平均を算出しました。

1 子供たちの生活について

NO	質問	4	3	2	1	わからない	平均
1	子供たちは、学校へ行くのが楽しいと言っている。	123	26	2	0	4	3.7
2	子供たちは、自分からすすんであいさつができる。	45	72	31	4	3	3
3	子供たちは、学校のきまりを守って生活している。	50	84	13	4	4	3.2

質問項目1 昨年と同様に保護者、児童双方から高い評価を得たのが「学校へ行くのが楽しい」の項目でした。日々の授業や生活、そして、運動会や学芸会などの行事、すべての教育活動を含めて「楽しい」との評価であり、何より価値あるものであると捉えております。いじめや体罰といったことが問題となっている昨今、このようなことが起きないように、児童相互が自他を認め合う人間関係を築くと共に、教職員の授業力や人権感覚を更に磨いて参ります。そして、更に高い評価をいただけるよう来年度も取り組んで参ります。

質問項目2 「自分から、進んであいさつができる」(保護者評価平均：昨年度2.9→今年度3.0)については、昨年度から0.1ポイント上がって初めて3点台の評価をいただくことができました。しかし、保護者の皆様からの評価の中では、まだ一番低い値であり、改善の余地が残る評価項目です。南田中小地区は、地域・保護者の皆様が一体となって学校に惜しみなく協力をしていただける学区です。その子供たちが地域の子供として育っていけるよう、これからも挨拶の大切さを継続して指導して参ります。「いつでも」「だれにでも」「すすんで」あいさつが出来るよう、月目標や「言葉づかい週間」を活用し、学校全体で継続して取り組んでまいります。地域・ご家庭でもご協力をお願いいたします。

質問項目3 「子供たちは、学校のきまりを守って生活している。」です。(教員評価平均：昨年度：3.0↑今年度：3.2)となり教員評価が0.2ポイント増となりました。一昨年からは0.4ポイント上がった項目です。子供たちの学校生活の様子は、昨年と比べて大きな事故や怪我が減ってきています。子供たちが学校のきまりを守っている一つの表れであるとも言えます。週初めに生活目標を意識化させるだけでなく、週末にも、必ず振り返りをさせることでより意識化を図っております。更に、

児童一人ひとりが自分の行動に対して責任をもって生活できるように指導を継続して参ります。

2 学習指導について

NO	質問	4	3	2	1	わからない	平均
4	子供たちは、基礎学力が身に付いている。	61	70	14	8	2	3.2
5	教職員は、授業を分かりやすく工夫して教えている。	92	46	3	0	4	3.4
6	教職員は、子供たちが、聴き合い学び合える場の工夫をした授業を行っている。	93	48	2	0	2	3.4

質問項目の4 「子供たちは、基礎学力が身に付いている。」の項目については、学校だよりもお示ししましたが、区や都、国の学力調査で、本年度も本校の児童の学力は着実に伸びていることがわかっています。しかし、昨年度に引き続き（保護者評価平均：昨年度 3.2→今年度 3.2）（教員評価平均：昨年度 3.2↓今年度 3.0）という結果となりました。基礎学力がなければ思考力や表現力といった活用の力は付かないことを念頭に置き、更なる基礎学力向上を目指して参ります。漢字や計算力などの基礎学力の習熟には、家庭との連携、少人数指導や個別指導の充実、本校の特色である区立南田中図書館の利用、授業における言語活動の充実など様々な面より、高い学力を追求して参ります。

質問項目5・6 質問項目5の「教職員は、授業を分かりやすく工夫して教えている。」（児童評価平均：昨年度 3.5→今年度 3.5）児童評価は昨年度と変わりませんでした。質問項目6については、今年度から質問内容を「教職員は、子供たちが、聴き合い学び合える場の工夫をした授業を行っている」に変更させていただきました。これは、子供たちの思考力・判断力・表現力を伸ばすためには、ただ教師側がわかりやすく教えているだけではなく、子供たち相互が学び合える授業を教師が創り出す技量を持たなければならないという意図があります。本校の校内研究と密接に関わる質問項目であり、今後この項目に対する評価の推移を注視していきたいと考えております。

3 教育環境について

NO	質問	4	3	2	1	わからない	平均
7	教職員は、日頃から子供や保護者からの相談にのってくれる。	100	42	1	1	1	3.4
8	学校は、家庭との連絡・意思疎通を図るとともに、学校公開やいろいろな行事等で教育活動を積極的に公開している。	129	23	1	0	2	3.8
9	学校の校舎内外の環境整備が行き届いている。	94	48	7	0	6	3.6

質問項目7 「教職員は、子供のことについて相談にのってくれる。」については（保護者評価平均：昨年度 3.6↓今年度 3.4）（児童評価平均：昨年度 3.5↑今年度 3.6）という評価をいただきました。保護者の方からの評価が2ポイント下がったことを真摯に受けとめて参ります。児童からの評価は2年連続で上昇しました。学校は誰に対してもでも「いつでも」「どんなことでも」気軽に相談できる体制を築いていかなければなりません。保護者、地域の方との協力関係を更に進め、情報交換を密にしながら、学校・保護者・地域が一体となった指導を行えるよう努力して参ります。

評価項目8 一昨年、昨年とならんで保護者アンケートで一番評価が高かったのが、「学校は、学校公開やいろいろな行事等で教育活動を積極的に公開している。（保護者評価平均：昨年度 3.8→今年度 3.8）」の項目です。3年続けて研究発表を行い、地域、保護者の方々だけでなくたくさんの参観者の方に学校を開いて見ていただきました。そのことにより学校の抱える課題が明確となり、次年度に向け明確な目標を持って、教職員が一体となって改善に取り組み成果を挙げることができました。本年度も皆様からいただいた貴重なご意見やご感想を更に学校改善に生かして参ります。引き続き、学校を開いてまいります。

質問項目9 「学校の校舎内外の環境整備が行き届いている。」については（保護者評価平均：昨年度 3.5↑今年度 3.6）と0.1ポイント増という評価をいただきました。校舎内外の恵まれた教育環境を

これからも生かし、更に児童が過ごしやすい環境を創って参ります。

4 地域・保護者との関わりについて

NO	質問	4	3	2	1	わからない	平均
10	保護者や地域の方は、学校の教育活動を理解し協力している。	67	71	8	0	9	3.4

質問項目 10 本年度も行事や日常の教育活動などの様々な場面で、保護者・地域の方々にはボランティアとして学校を支えていただきました。多くの皆様方のご協力をいただくことで、本校の教育活動は益々充実を図ることができました。今後ともご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

最後に学校評議員の皆様から、学校評価アンケートの結果を受けて次のようなご意見をいただきました。貴重なご意見をいただきましたが紙面の都合で一部のみを紹介させていただきます。

- ・児童アンケートの回答の中には、「学校が楽しい」「授業で習ったことがわかります」の項目で評価1の「そうは思わない」と答えている児童がいることを忘れず、その子供たちの追跡調査をして、全ての子供たちが「学校が楽しく、授業がわかる」学校づくりを目指してがんばってほしい。
- ・「学び」は「真似ること」から始まる。大人が子供に挨拶すると、掛けた言葉通りの挨拶が子供から返ってくる。挨拶や言葉遣いなどは、大人が模範を示していくことで、もっと子供たちを学校・地域・保護者が一体となって育てていきたい。
- ・南田中図書館との連携を継続して、これからも授業改善、学力向上に努めていただきたい。
- ・みなみ学級の教室で子供たちが楽しそうに交流している姿がみられのが嬉しい。

教員、児童にも同じようにアンケートを行いました。保護者、教員、児童の平均を表にまとめて表しました。

保護者・教員・児童アンケートのまとめ(児童292名、教員16名)

NO	質問項目	平均		
		保護者	教員	児童
1	子供たちは、学校へ行くのが楽しいと言っている。	3.7	3.6	3.6
2	子供たちは、自分からすすんであいさつができる。	3.0	2.9	3.3
3	子供たちは、学校のきまりを守って生活している。	3.2	3.2	3.1
4	子供たちは、基礎学力が身に付いている。	3.2	3.0	3.5
5	教職員は、授業を分かりやすく工夫して教えている。	3.4	3.1	3.2
6	24年度 教職員は、一人一人を大切に、熱心に指導を行っている。 25年度 教職員は、子供たちが、聴き合い学び合える場の工夫をした授業を行っている。	3.4	3.2	
7	教職員は、日頃から子供や保護者からの相談にのってくれる。	3.4	3.5	3.6
8	学校は、家庭との連絡・意思疎通を図るとともに、学校公開やいろいろな行事等で教育活動を積極的に公開している。	3.8	3.6	
9	学校の校舎内外の環境整備が行き届いている。	3.6	3.5	
10	保護者や地域の方は、学校の教育活動を理解し協力している。	3.4	3.4	

以上、皆様からいただいた貴重なデータを来年度の教育課程の編成や教育改善に生かしてまいります。

NO	保護者の皆様への質問155名 回答率57.8%	4	3	2	1	平均	昨年
1	子供たちは、学校へ行くのが楽しいと言っている。	123	26	2	0	3.7	3.6
2	子供たちは、自分からすすんであいさつができる。	45	72	31	4	3	2.9
3	子供たちは、学校のきまりを守って生活している。	50	84	13	4	3.2	3.4
4	子供たちは、基礎学力が身に付いている。	61	70	14	8	3.2	3.2
5	教職員は、授業を分かりやすく工夫して教えている。	92	46	3	0	3.4	3.4
6	24年度 教職員は、一人一人を大切に、熱心に指導を行っている。 25年度 教職員は、子供たちが、聴き合い学び合える場の工夫をした授業を行っている	93	48	2	0	3.4	3.5
7	教職員は、日頃から子供や保護者からの相談にのってくれる。	100	42	1	1	3.4	3.6
8	学校は、家庭との連絡・意思疎通を図るとともに、学校公開やいろいろな行事等で教育活	129	23	1	0	3.8	3.8
9	学校の校舎内外の環境整備が行き届いている。	94	48	7	0	3.6	3.5
10	保護者や地域の方は、学校の教育活動を理解し協力している。	67	71	8	0	3.4	3.4
NO	教員への質問 17名 100%	4	3	2	1	平均	昨年
1	子供たちは、学校へ行くのが楽しいと言っている。	11	6	0	0	3.6	3.5
2	子供たちは、自分からすすんであいさつができる。	4	8	2	2	2.9	2.8
3	子供たちは、学校のきまりを守って生活している。	8	5	3	1	3.2	3
4	子供たちは、基礎学力が身に付いている。	3	12	1	1	3	3.2
5	授業を分かりやすく工夫して教えている。	2	14	1	0	3.1	3.2
6	24年度 教職員は、一人一人を大切に、熱心に指導を行っている。 25年度 教職員は、子供たちが、聴き合い学び合える場の工夫をした授業を行っている	5	8	2	0	3.2	3.4
7	日頃から子供や保護者からの相談にのっている。	8	7	0	0	3.5	3.3
8	学校は、家庭との連絡・意思疎通を図るとともに、学校公開やいろいろな行事等で教育活 動を積極的に公開している。	9	7	0	0	3.6	3.6
9	学校の校舎内外の環境整備が行き届いている。	8	9	0	0	3.5	3.1
10	保護者や地域の方は、学校の教育活動を理解し協力している。	6	11	0	0	3.4	3.3
NO	児童「学校生活についてのアンケート」309名 回答率93.3%	4	3	2	1	平均	昨年
1	学校は楽しいです。	217	66	19	7	3.6	3.5
2	先生や友だちに自分から進んであいさつをしています。	147	120	32	10	3.3	3.2
3	いつも学校のきまりを守っています。	104	150	40	15	3.1	3.1
4	授業でならったことはわかります。	175	103	28	3	3.5	3.5
5	・24年度 先生たちは、授業を分かりやすく教えてください。 ・25年度 授業で人の話を聞き、自分の思いや考えを発表する。	128	119	53	9	3.2	3.6
6	先生たちは、こまったときにそだんにのってくれます。	218	69	15	7	3.6	3.5